

男女共学

の成立

KOYAMA Shizuko & ISHIOKA Manabu
小山静子・石岡学 ● 編著

受容の多様性とジェンダー

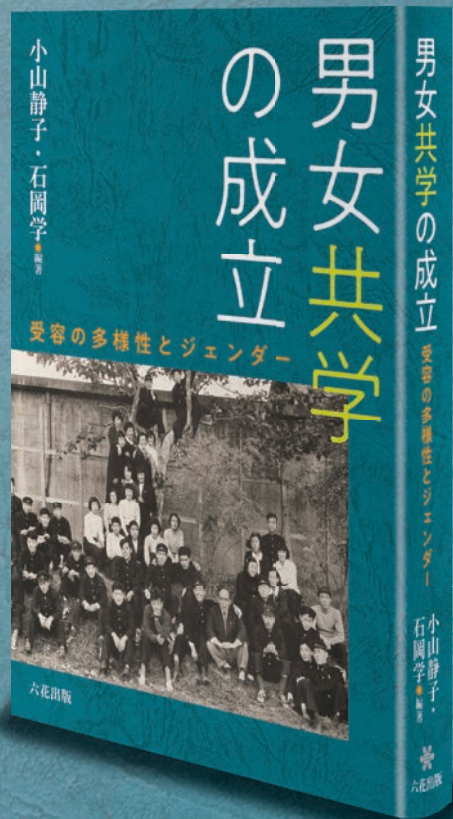
戦後民主主義のもとで推進された

高等学校の男女共学化。

単線ではないその道程を全国さまざま

地域において検証し、これからの教育における

ジェンダーの課題を提示する。



2021年
6月刊行!

A5判・上製・336ページ
定価 3,000円+税 (税込3,300円)
ISBN978-4-86617-140-1

電子書籍版も同時刊行!

詳細は弊社HP 電子書籍の案内ページをご覧ください

……男女共学や男女別学をめぐる議論や現実には錯綜しており、共学と別学のどちらがいいのかという問題ではないことがわかる。というのも、共学か別学かという問題は、単純に男女が共に学ぶのか、別々に学ぶのかという問題ではなく、その根底にはジェンダーの問題が深く根を下ろしており、こここそが根源的な問題だからである。隠れたカリキュラムという問題が指摘されたのは、社会に存在する固定的なジェンダー観や男女の非対称な関係性が、共学という制度の下に存在するからであり、女子校の存在意義が主張されるのは、このようなジェンダーのありようを打破する可能性が女子校にあると考えられているからであった。また男子校には、「男らしさ」から逃れることができる側面も、それを強化する側面もあることがわかる。さらにいえば固定的なジェンダー観にとつた教育方法を、個人としての教育達成の手段として用いる別学論まで存在していた。

ということは、今、考えなければならぬことは、男女共学や男女別学をめぐる考え方にどのようなジェンダーのありようが潜んでいるのか、そしてこれまでそれがどのように論じられてきたのかを明らかにすることなのである。

……本書序章より

序章

- 問題関心
一 ジェンダー問題としての男女共学／男女別学
二 本書の課題と内容

小山静子

第I部 別学校の存在

第1章

福島県における男子校の女子受け入れ

前川直哉

- 別学に戻った高校、共学化した高校
一 新制高校の発足と別学校の残存
二 男子校の女子受け入れと廃止
三 女子受け入れから共学化へ

第2章

群馬県における男女別学と「男女共学」

小山静子

- 一 新制高等学校の成立
二 多くの男女別学校の誕生
三 男女が在籍する学校の誕生

第II部 単一の学校の共学化

第3章

北海道における小学区制と男女共学

須田珠生

- 札幌市内の公立高等学校三校を中心に
一 新制高等学校の発足
二 札幌市内の公立普通科高校における男女共学の全面实施
三 コース別クラス編成による男女共学の崩壊

第4章

京都市内の公立高校生における男女共学観 和崎光太郎

- 一 京都市内の公立高校における男女共学の実施と高校新聞
二 旧制および再編前新制高校の時期
三 再編後から一九四九年度末まで
四 一九五〇年度以降

第5章

男女比が極端に不均衡な男女共学

小山静子

- 熊本市内の県立高等学校
一 新制高等学校の誕生
二 小学区制の問い直し
三 男女共学の有名無実化

第III部 男女別定員を設けた共学化

第6章

男女比に大きな偏りのある男女別定員

今田絵里香

- 東京都の男女共学
一 男女別学制の新制高校の発足

執筆者

- 小山静子（京都市立大学名誉教授）
前川直哉（福島大学教育推進機構特任准教授）
須田珠生（日本学術振興会特別研究員（PD））
和崎光太郎（東京福祉大学保育児童学部准教授）
今田絵里香（成蹊大学文学部教授）
土屋尚子（大阪芸術大学准教授）
石岡学（京都大学大学院人間・環境学研究所准教授）
土田陽子（帝塚山学院大学人間科学部教授）
中山良子（和歌山工業高等専門学校他非常勤講師）
日高利泰（熊本大学大学院人文社会科学部研究部准教授）

二一九四九年度の男女共学制

三一九五〇年度の男女共学制

四 男女別定員の導入の背景

第7章

男女生徒同数を目指した大阪府の男女共学制

土屋尚子

第IV部 複数の学校の統合あるいは再編による共学化

第8章

青森県津軽地方における男女共学

石岡学

- 県立青森高等学校を中心に
一 津軽地方の高校における青森高校の位置づけ
二 『青高新聞』における男女共学の語り
三 『青高新聞』にみる男女共学の実態

第9章

高等女学校の後継校が存在しない地域の男女共学

土田陽子

- 和歌山市の事例から
一 戦後の中等教育改革
二 男女共学制をめぐる議論とその実態

第10章

福岡県久留米市の高等学校再編成と男女共学

中山良子

- 一 新制高等学校の成立と男女共学をめぐる議論
二 高等学校再編成——男生徒の「犠牲」、女生徒の署名活動
三 男女共学のはじまり
四 福岡県下の「学区制の乱れ」と久留米市の自由区化

第11章

鹿児島県下における男女共学制の定着

日高利泰

- 私立男子校新設による円滑化
一 県下の新制高校における共学化の経緯
二 『鹿児島県教育委員会月報』における男女共学をめぐる議論
三 私立男子校の新設

終章

「男女共学」の百面相

石岡学

- 一 男女共学への転換あるいは男女別学の維持とその後の展開
二 新制高校の成立と変化の過程に潜むジェンダー

あとがき

小山静子

行動するわたたちの会資料集成

全8巻《編集復刻版》

編 高木澄子・中嶋里美・三井マリ子・山口智美・山田満枝
解説 井上輝子・山口智美

国際婦人年をきっかけとして行動を起こすわたたちの会（1975～96年）の全記録！

インスタントライメンCM「私作る人、僕食べる人」などの性別役割
割分業に抗議し、家庭科の男女共修、出席名簿の男女混合の運動
を推進して70年代から90年代のウーマンリブ／フェミニズム運動
の「翼をになつた」行動する会。その活動を記録するチラシ・宣言
文・裁判資料・リーフレット・機関誌等、約630点を編集復刻！
● 体裁——A4判（第1巻・第2巻）・B5判（第3巻～第8巻）／上製
／総約3,300ページ
● 揃定価——180,000円＋税（税込198,000円）（全3回配本）

既刊図書のご案内

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。
お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話03(6266)8787

Fax 03(6266)8788 電子メール info@rikka-press.jp

注文カード

帖合・貴店名		冊	
注文数		発行 二六花出版 編著 二小山静子・石岡学	
〈八木書店経由〉		男女共学の成立	
定価 ●三、三〇〇円(税込)		受容の多様性とジェンダー	
ISBN978-4-86617-140-1		受容の多様性とジェンダー	
お名前		年 月 日	
お電話番号		注文	